

—子どもたちの絆のために—  
「陸前高田七夕まつり体験学習 2013」実施報告



当社は2013年8月6日（火）から2泊3日の日程で、当社出店エリアの子どもたちと岩手県・陸前高田七夕まつりに参加して、地元の方たちと交流する体験学習を実施しました。昨年に引き続き二回目の開催となります。

体験学習では、津波の爪痕の残る被災地の今を自分の目で見て、語りべの方から被災時の様子や復興の現状を聞き災害に備える意識を高めました。そして、伝統の七夕まつりに参加し、地元の皆さんと一緒に山車を引いて交流を深めました。犠牲者への鎮魂と復興を願う皆さんの思い、人と地域のつながりの大切さや絆を五感で感じた三日間となりました。

## 《陸前高田七夕まつり体験学習 2013 の概要》

- ◆期 間 2013年8月6日（火）～8日（木） 2泊3日
- ◆参加人数 小学5年生～6年生 31名  
2013年度新入社員 91名  
従業員ボランティア・他 26名 総勢148名
- ◆参加費 無料
- ◆内容

1日目 (8/6)	語りべ4名による被災地案内
	千羽鶴を慰霊碑に奉納
2日目 (8/7)	高田町「うごく七夕まつり」気仙町「けんか七夕祭り」参加
3日目 (8/8)	世界遺産・平泉「中尊寺」見学



語りべから東日本大震災の体験談などを聞きました。

(8/6(火) 陸前高田市内)



東日本大震災慰霊碑に、千羽鶴を奉納しました。

(8/6(火) 道の駅 高田松原)



「うごく七夕まつり」に参加。地元の皆さんと一緒に山車をひきました。

(8/7(水))



山車をぶつけ合う「けんか七夕祭り」に参加しました。

(8/7(水))

#### 《ご参考》

陸前高田で先祖を弔う祭りとして古くから伝わる「うごく七夕」と「けんか七夕」は毎年8月7日、子どもたちをはじめ老若男女が一つになって楽しむ夏祭りです。お囃子の太鼓や笛は親から子へ、子から孫へ受け継がれる伝統行事であり、山車に乗る大人たちの勇姿は子どもたちの憧れであり夢でもあります。しかし陸前高田の中心街は東日本大震災の津波によりそのすべてを失い、祭りの山車も多くが流失しました。

当社は、この七夕まつりを復活させて故郷への思いや子どもたちの夢を明日へとつなぐために、2011年11月、復興支援カレンダー「明日暦2012」によるチャリティー活動を実施し、2012年2月、山車製作費用として「復興 陸前高田 うごく七夕まつり実行委員会」と「気仙町けんか七夕祭り保存連合会」それぞれに14,443,888円ずつ、総額28,887,776円を贈呈しました。

また、2012年11月～12月には、復興支援カレンダー「明日暦2013」によるチャリティー活動を行い、小中学校の教育復興と学校施設の復旧等に役立てていただくために、総額13,659,500円を陸前高田市立小中学校復興基金に贈呈。当社は継続して、陸前高田の子どもたちを応援していきます。

※画像データをご希望の際は、株式会社カスミ 経営企画本部広報までお問い合わせ下さい。



Changing & Learning with Customers

[www.kasumi.co.jp](http://www.kasumi.co.jp)